

岩手県感染症週報

平成14年第47週（11月18日～11月24日）

岩手県結核 感染症情報センター

第47週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

（11/22に掲載した腸管出血性大腸菌感染症の1例は削除されました。）

4 類感染症（全数把握対象疾患）

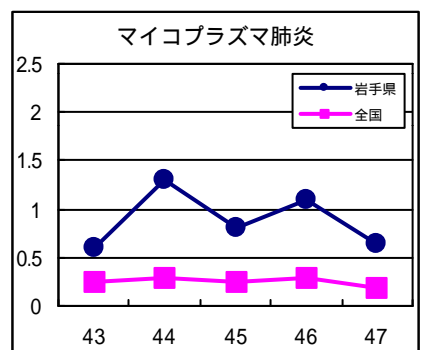
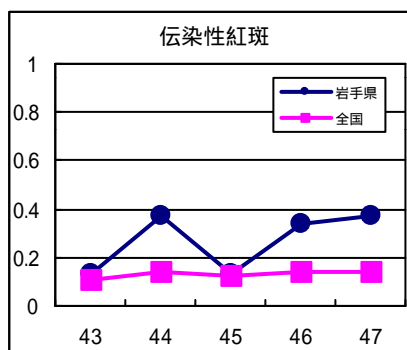
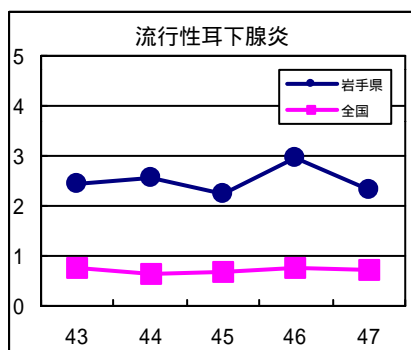
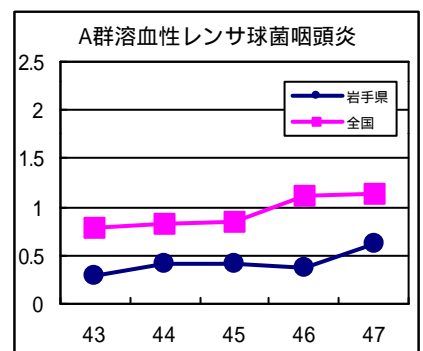
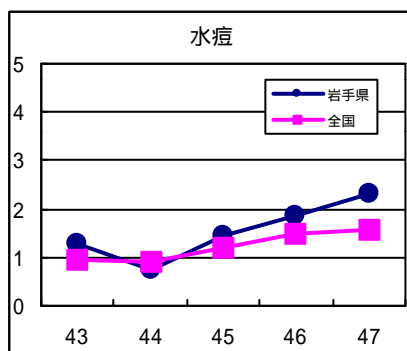
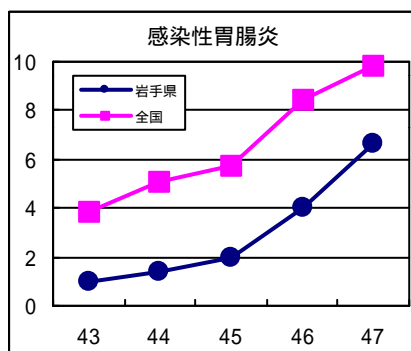
- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は盛岡、花巻、北上地区で先週よりさらに患者数が増加しました。県全体では患者数が3週前の約5倍と急増しています。また、ノーウォークウイルスを原因とする集団感染事件も発生しており、食品の十分な加熱、手洗いの励行など、感染予防対策が必要です。
- ・水痘は二戸地区で定点あたり患者数が8.5と先週よりさらに増加しているほか、各地で増加傾向にあります。例年、年末に流行のピークがあるので、これからさらに患者数は増えるものと予想されます。
- ・伝染性紅斑は依然として北上地区で患者数が多い状態が続いています。
- ・流行性耳下腺炎は久慈、二戸地区で患者数が減少しましたが、水沢、一関地区では患者数が多く注意が必要です。
- ・マイコプラズマ肺炎は先週より患者数はやや減少しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		43	44	45	46	47	
インフルエンザ	岩手県	0.02	0.02	0.08	0	0.05	→
	全国	0.02	0.02	0.03	0.04	0.07	
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0	0.03	0	0.05	→
	全国	0.05	0.05	0.07	0.08	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.29	0.42	0.42	0.37	0.63	↗
	全国	0.78	0.82	0.84	1.12	1.13	
感染性胃腸炎	岩手県	1	1.42	2	4.03	6.66	↗
	全国	3.89	5.07	5.77	8.44	9.81	
水痘	岩手県	1.29	0.74	1.45	1.84	2.32	↗
	全国	0.93	0.91	1.2	1.5	1.56	
手足口病	岩手県	0.92	0.89	0.37	0.29	0.34	→
	全国	0.53	0.55	0.44	0.42	0.38	
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.37	0.13	0.34	0.37	→
	全国	0.11	0.14	0.12	0.14	0.14	
突発性発疹	岩手県	0.5	0.55	0.55	0.55	0.32	→
	全国	0.73	0.67	0.61	0.74	0.69	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0.05	→
	全国	0	0	0.01	0	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.13	0.08	0.03	0.08	→
	全国	0.1	0.09	0.06	0.07	0.06	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	
流行性耳下腺炎	岩手県	2.45	2.58	2.26	2.95	2.32	→
	全国	0.77	0.64	0.68	0.78	0.72	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0.08	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	
流行性角結膜炎	岩手県	0.83	0.83	0.5	1	0.67	→
	全国	0.94	0.91	0.81	0.95	0.87	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0	0	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.02	0.01	0.02	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.05	0.04	0.03	0.02	0.03	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.6	1.3	0.8	1.1	0.65	↘
	全国	0.24	0.29	0.25	0.28	0.18	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.01	0	0.01	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	(週)						岩手県		全国	
		43	44	45	46	47	累計	47	累計		
一 類 感 染 症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
二 類 感 染 症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	51		
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	5	643		
	腸チフス	0	0	0	0	0	1	2	60		
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	30		
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0		
三 類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	91	27	3050		
四 類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	3	406		
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	8		
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	55		
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	10	3	851		
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1	41		
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0		
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	107		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	4	1	120		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	79		
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	3	7	814		
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3		
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	99		
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0		
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	6		
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0		
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ツツガムシ病	1	0	1	1	0	9	15	225		
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	47		
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	34		
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	7		
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0		
	梅毒	0	0	0	0	0	4	1	505		
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	93		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	39		
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0		
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0		
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1		
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0		
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	75		
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	15		
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	2	157		
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

「ウエストナイル熱」が平成14年11月から新たに四類感染症に指定されました。

今注目の感染症

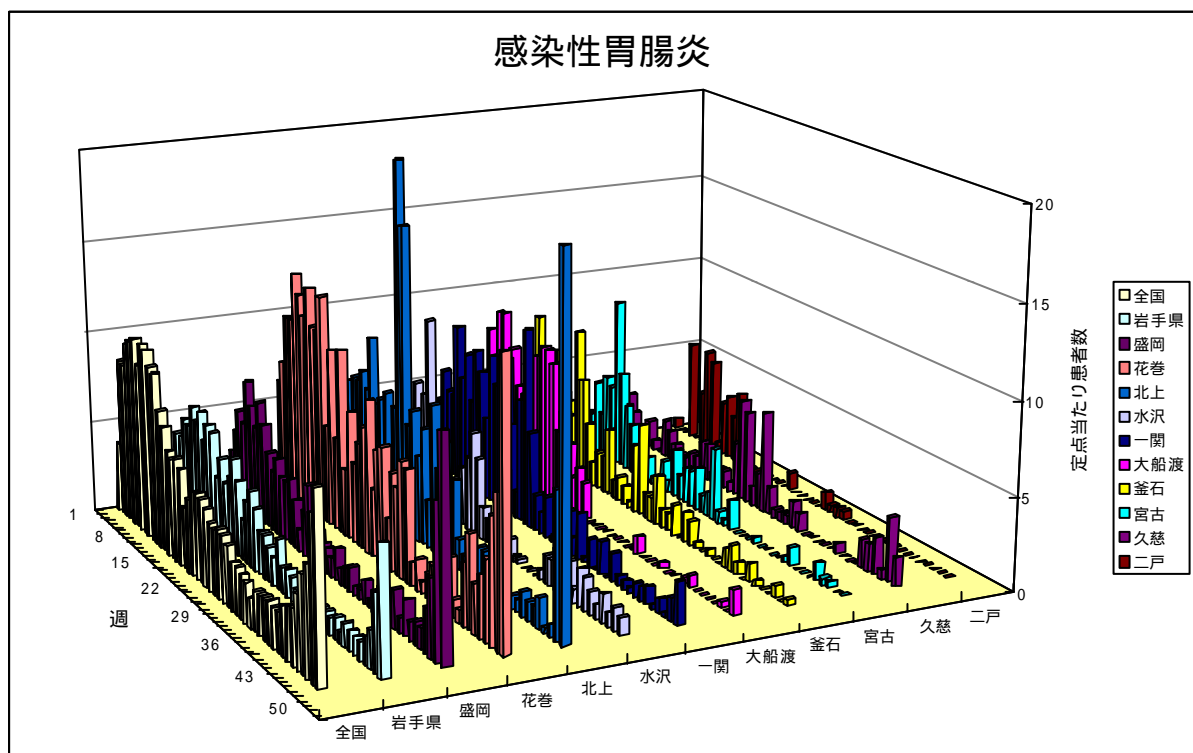
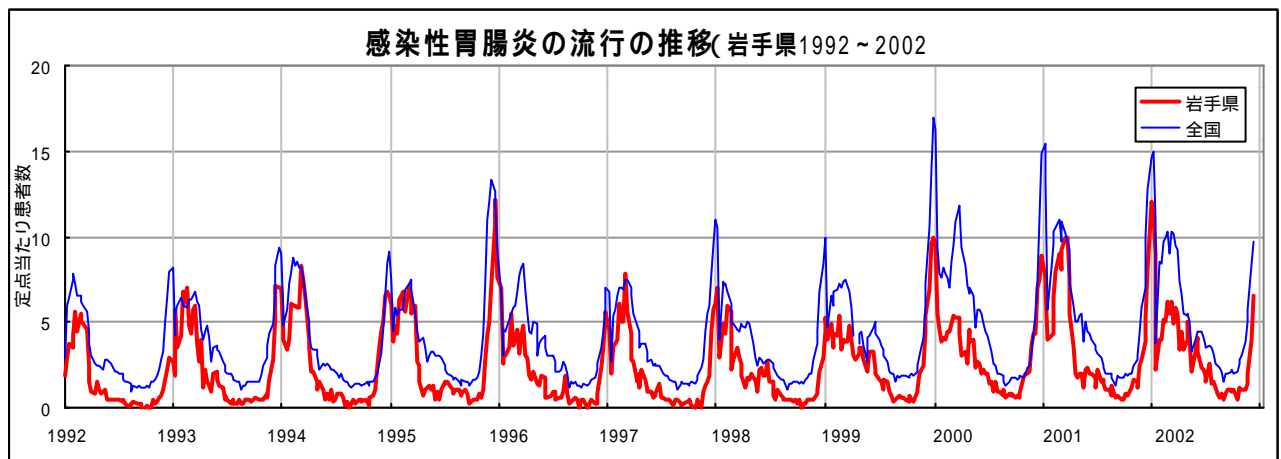
感染性胃腸炎

「感染性胃腸炎」は、単一の疾患を意味するものではなく、いろいろな病原体による胃腸炎を広く含む症候群です。病原体としては、カンピロバクターやサルモネラなどの細菌や、ロタウイルスやノロウイルスなどのウイルスが中心となります。現在、感染症発生動向調査では感染性胃腸炎が小児科定点把握疾患であることから、冬季におけるノロウイルスとロタウイルスの二つが重要な病原体となっています。

感染性胃腸炎の流行曲線は12月にみられる比較的シャープなピークと、1～3月にみられるなだらかなピークとからなりますが、前者の多くはノロウイルス、後者の多くはロタウイルスによるものと考えられています。

感染様式は感染者からの糞口感染や汚染された水・食品を媒介する感染などですが、ノロウイルスの場合には吐物や飛沫からの感染もあり得ます。

感染の予防には食中毒の一般的な予防法に準じて食品の加熱を徹底すること、流行期の手洗いの励行、患者との濃厚な接触を避けることが重要です。また、ノロウイルスによる場合には、排泄物や汚れ物の処理の際にも十分な注意が必要です。いずれの病原体においても、家庭内や集団内での二次感染の防止が大事です。



病原体検出情報

- 9月から10月にかけて採取した手足口病の患者の咽頭拭い液からエンテロウイルス（型別不明）を4例検出しました。
- 11月中旬に採取した溶レン菌咽頭炎の患者の咽頭拭い液からA群溶血性レンサ球菌（T12型とT型別不明）を2例検出しました。
- 11月中旬に採取した感染性胃腸炎の患者の便からノーウォークウイルス（GII）を1例検出しました。

集団感染情報

老人ホームで発生した集団食中毒事件

- 1 事件の探知
11月22日（金）午前11時30分頃、「ケアハウス盛岡」施設長から盛岡保健所に「入居者が嘔吐、下痢の食中毒様症状を呈している」との通報があり探知した。
- 2 調査結果
盛岡保健所の調査の結果、患者の共通食品はこの施設が提供した食事のみであり、また、患者便からSRSV（ノーウォークウイルス）が検出されたことから、本事件を当該施設を原因施設とするSRSVによる食中毒事件と断定した。

（1）初発年月日	11月21日（木）午後7時
（2）患者数	12名（うち入居者11名、職員1名）
（3）主症状	嘔吐、下痢
（4）病因物質	SRSV（ノーウォークウイルス）
（5）原因食品	施設の給食
（6）原因施設	「ケアハウス盛岡」（集団給食施設）
- 3 保健所の措置
盛岡保健所は、「ケアハウス盛岡」の給食部門を11月24日（日）から26日（火）までの3日間、食品衛生法に基づき業務停止処分とした。

医療機関からの情報

この欄に医療機関の皆様からの情報をお待ちしております。医療現場の生の声をぜひお聞かせ下さい。

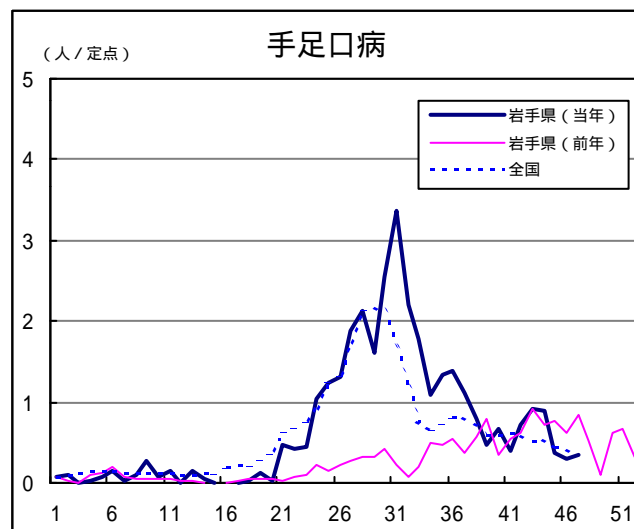
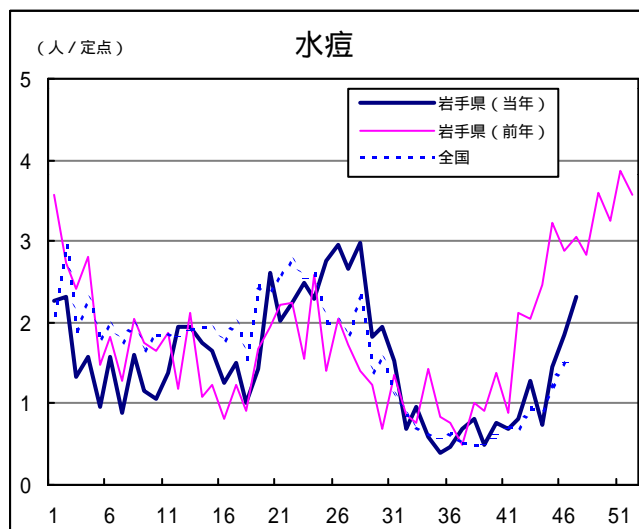
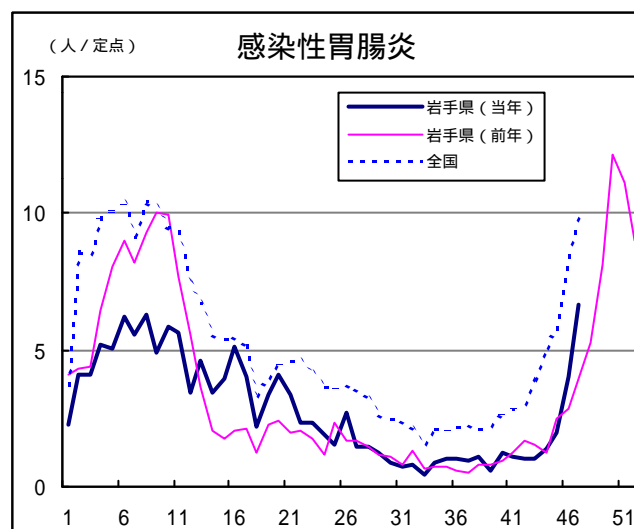
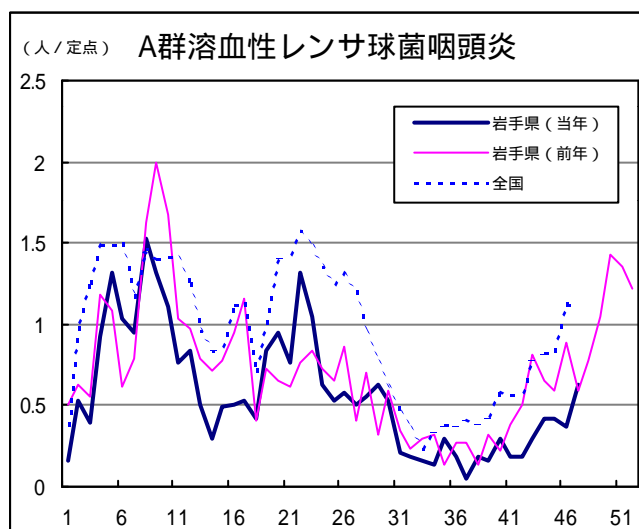
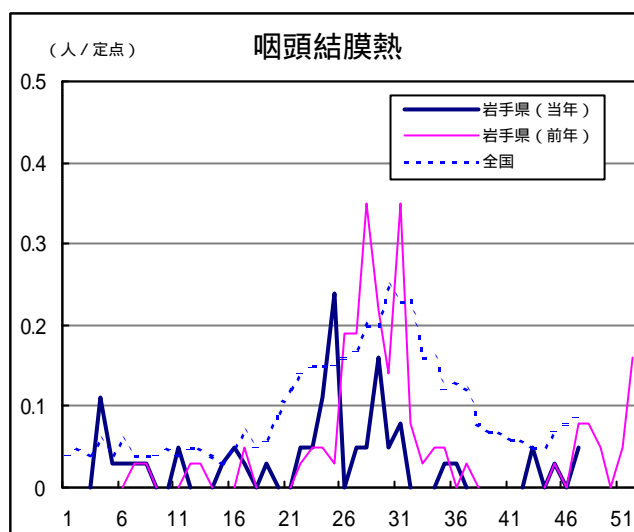
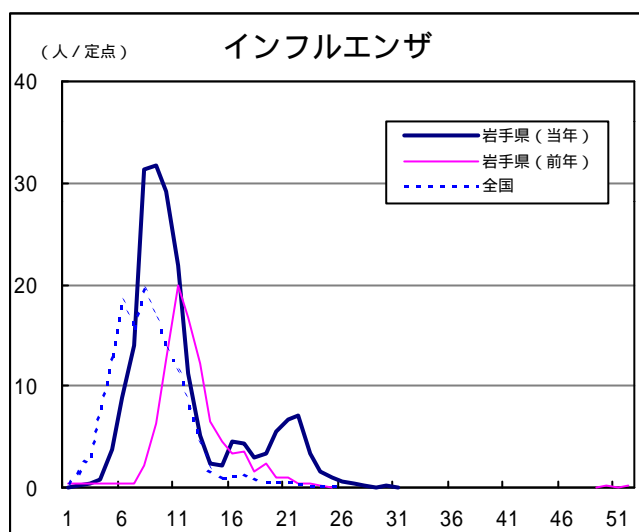
Q & A

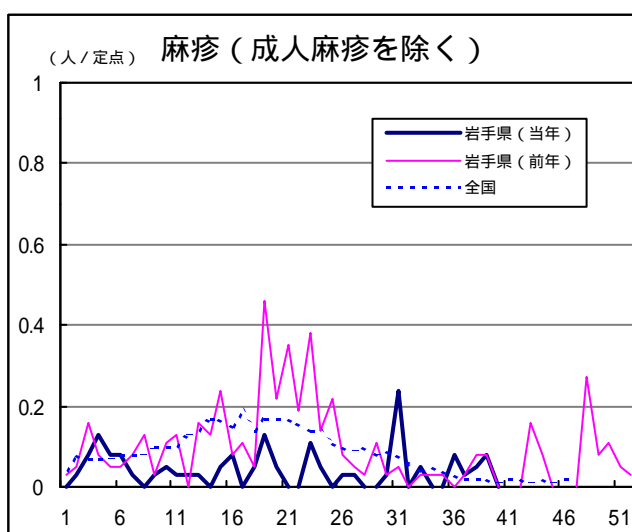
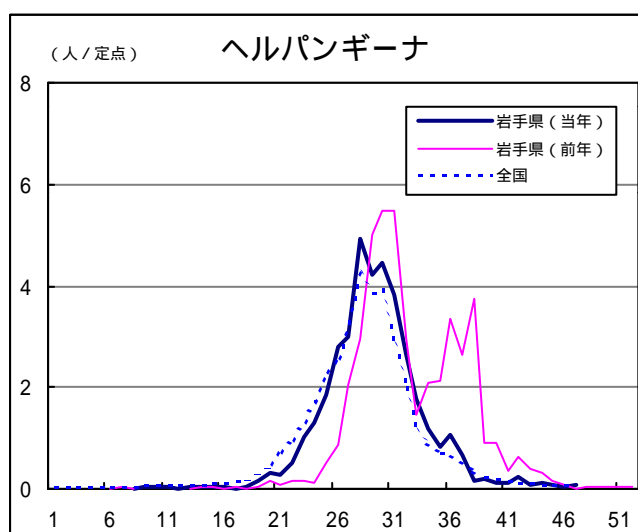
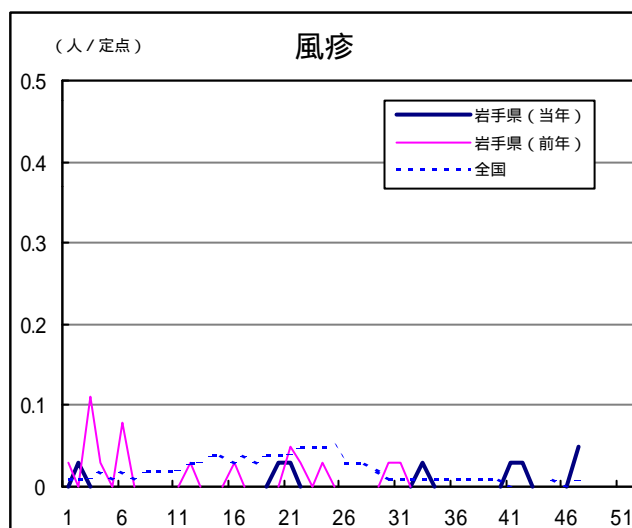
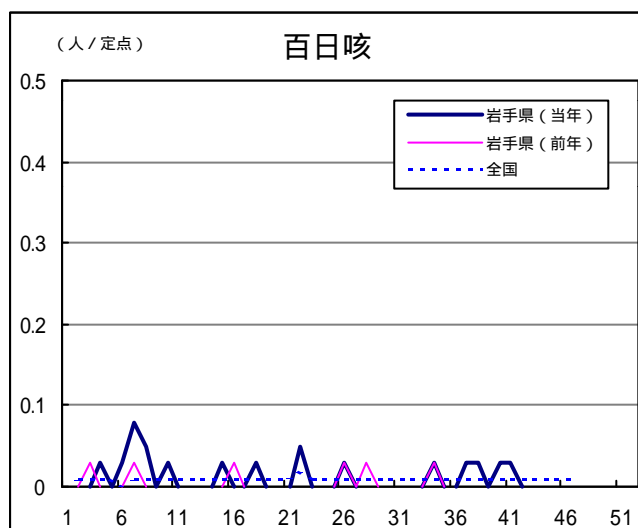
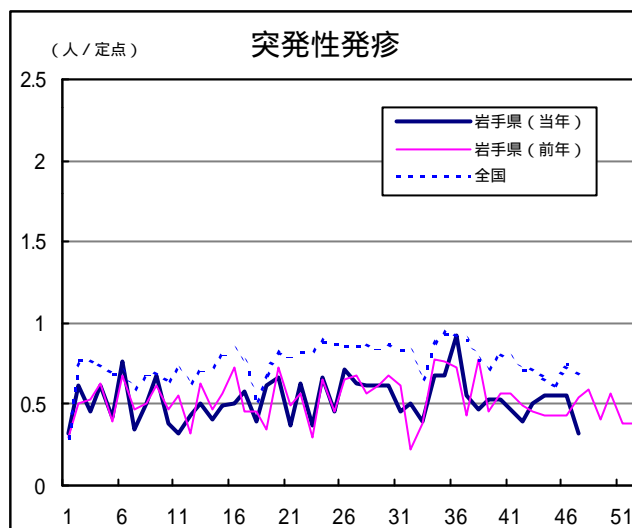
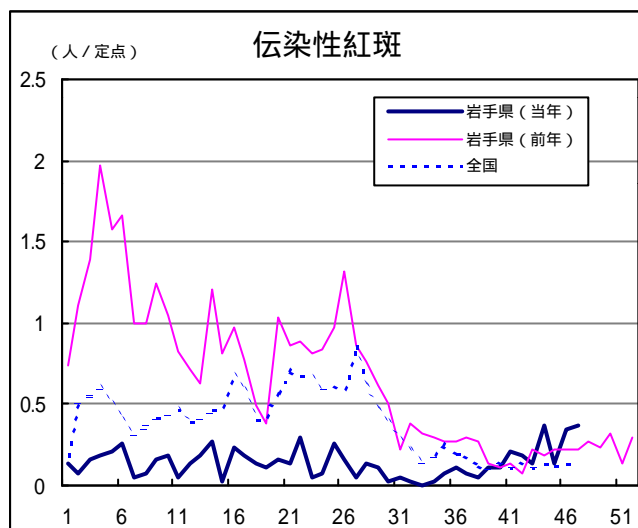
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

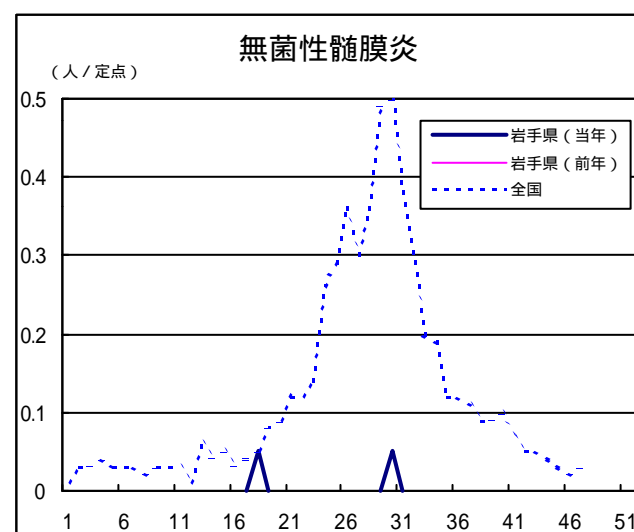
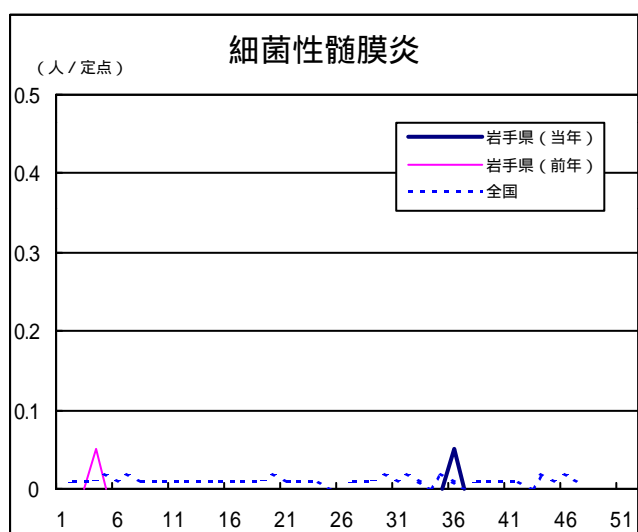
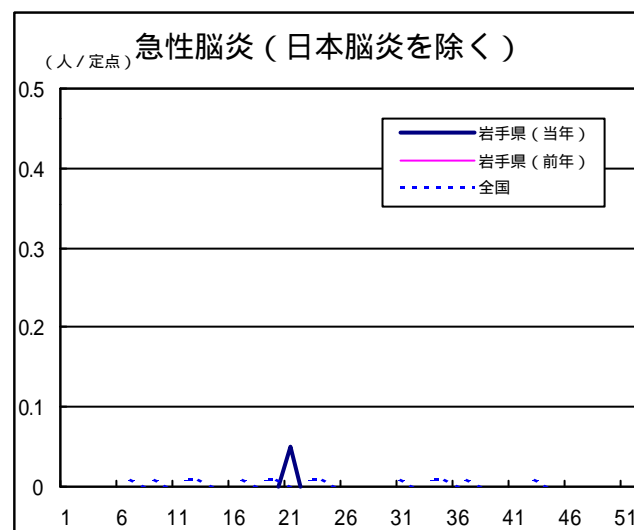
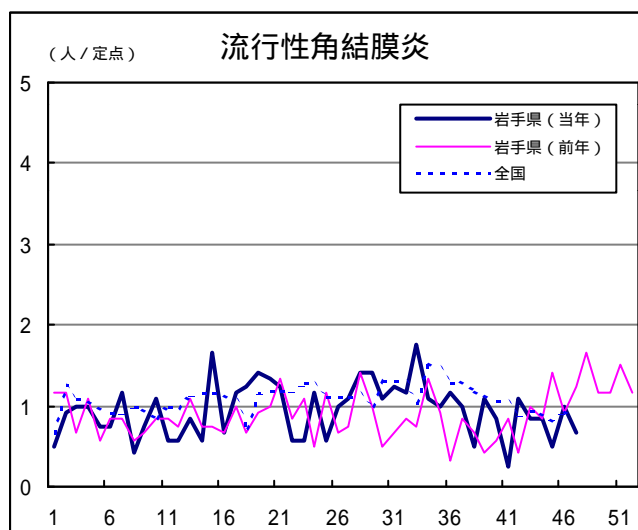
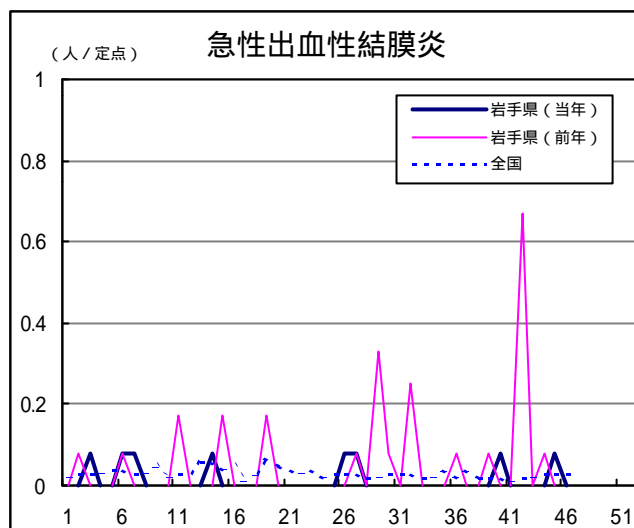
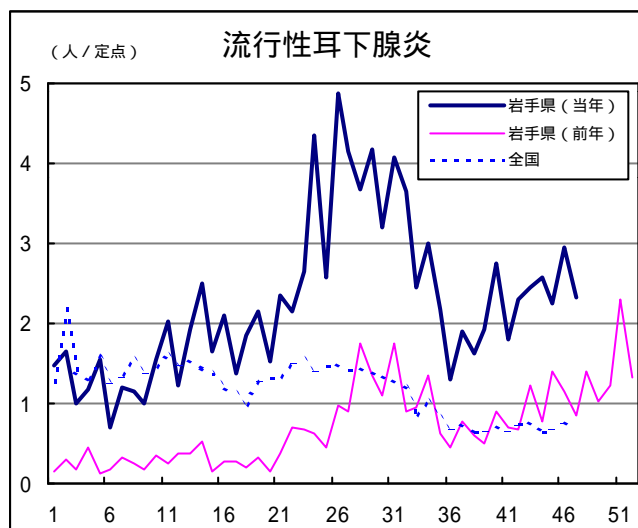
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

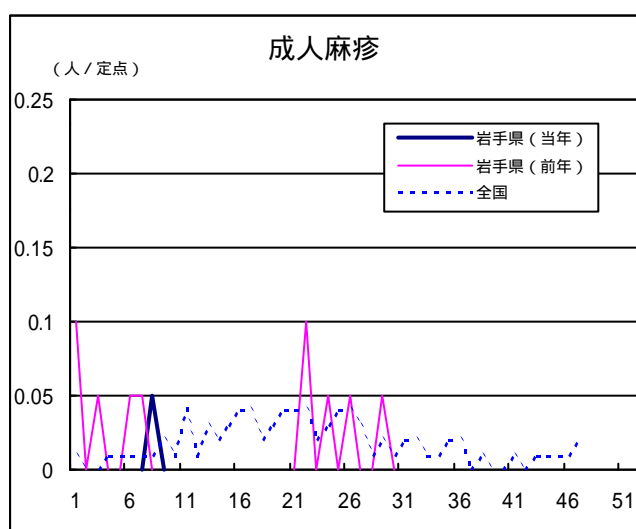
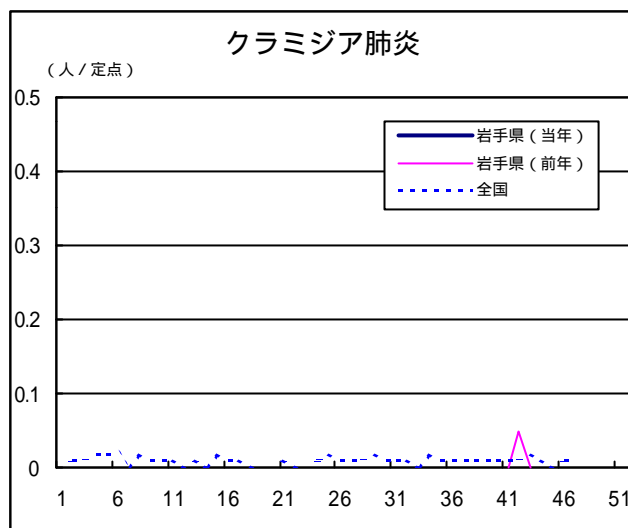
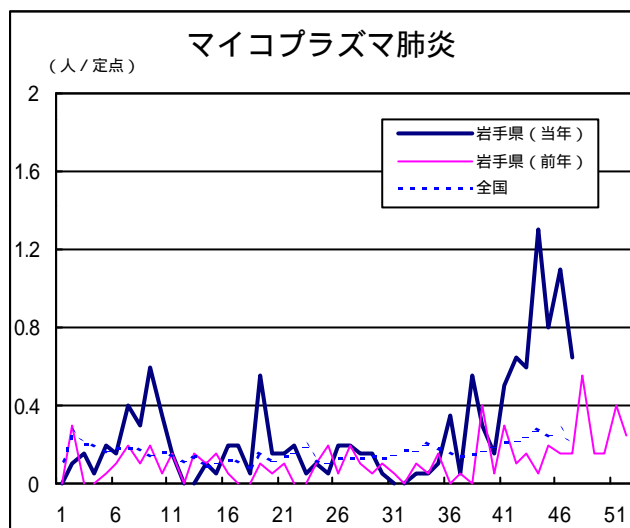
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成14年第47週 平成14年11月29日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県結核・感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/

<岩手県保健福祉部保健衛生課>